

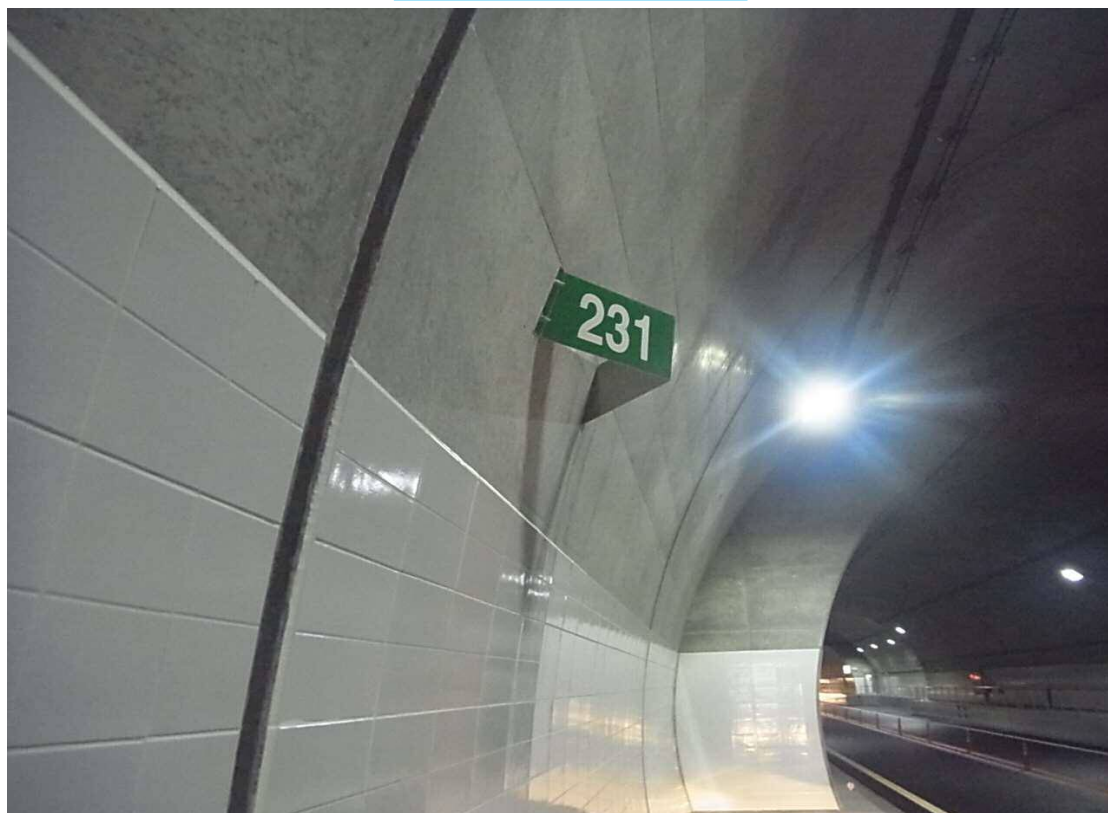
技術概要書（様式）

※別紙2

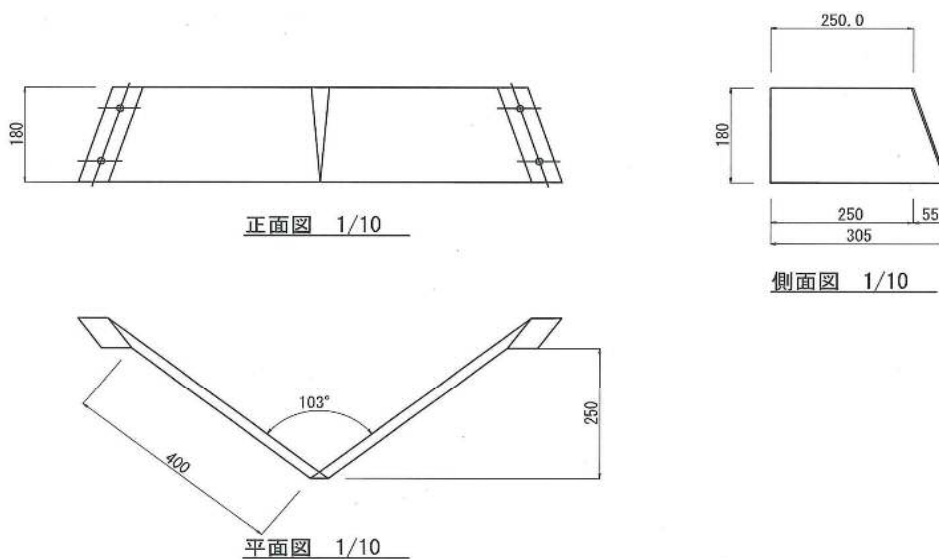
技術分類	安全・防災 ☒ 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）																	
技術名称	トンネル特殊両面距離標	担当部署	技術開発部															
NETIS登録番号		担当者	牟田 良															
社名等	西日本高速道路メンテナンス九州㈱	電話番号	092-716-3984															
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 従来のトンネル内距離標は、側壁等に貼付けてあるためトンネル内を走行中に、現在地を確認することは困難でした。 2. 技術の内容 構造を山折型にすることで、前方及び後方からの視認性が良く、トンネル内での位置確認が容易にできる距離標です。 ○立体構造で視認性が向上します。 ○路面から見やすい角度を付けています。 ○コンクリート壁面にアンカーで固定するシンプル構造です。 3. 技術の効果 従来製品に比べて視認性が飛躍的に向上し、道路管理を行う上で位置の把握が容易になるとともに、トンネル内での事故等の事象が起こった際に道路利用者からも容易に位置の確認ができ、通報等による対応が早期に行えます。 4. 技術の適用範囲 供用中トンネル及び新設トンネル 5. 活用実績 <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>326基（九州</td> <td>326基</td> <td>、九州以外</td> <td>0基）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>0基（九州</td> <td>0基</td> <td>、九州以外</td> <td>0基）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>731基（九州</td> <td>641基</td> <td>、九州以外</td> <td>90基）</td> </tr> </table>			国の機関	326基（九州	326基	、九州以外	0基）	自治体	0基（九州	0基	、九州以外	0基）	民間	731基（九州	641基	、九州以外	90基）
国の機関	326基（九州	326基	、九州以外	0基）														
自治体	0基（九州	0基	、九州以外	0基）														
民間	731基（九州	641基	、九州以外	90基）														

6. 写真・図・表

取 付 例



規 格 ・ 仕 様



仕様: DGタイプ 超高輝度反射シート (広角プリズムレンズ型)
EGPタイプ 普通反射シート (封入プリズム型)